

(4月16日) : ビングループが指数の下落を支える

ホーチミン取引所のVN指数は0.58%下落し977.17ポイントで取引を終えた。ビンググループの反発が市場を支えることになった。

190銘柄が下落し、190銘柄が上昇した。出来高は1億5000万株で売買代金は3.3兆ドンであった。出来高は先週末比減少したが、売買代金は上昇した。

相対取引は1900万株で売買代金は6100億ドンであった。

ビンググループ(VIC)は前場に大きく下落したが最終的には0.09%の小幅な下落で取引を終えた。しかし、子会社のビンホームズ(VHM)は2.47%下落し34,000ドンで取引を終えた。出来高は263万株であった。

大型株の中では、ベトコムバンク(VCB)、ペトロベトナムガス(GAS)、テクコムバンク(TCB)、ペトロベトナムパワー(POW)などがそれぞれ1%ほど下落した。

一方、HDバンク(HDB)は3.25%上昇し28,600ドンで取引を終えた。外国人投資家が68万株ほど買い越した。

ベトナム投資開発銀行(BID)も2.16%上昇し35,500ドンで取引を終えた。出来高は140万株ほどであった。

サイゴンビールアルコール飲料総公社(SAB)は0.82%上昇し246,200ドン、ビナミルク(VNM)とベトジェットエア(VJC)はそれぞれ0.22%と0.09%上昇し136,000ドンと113,300ドンになった。

最も出来高が多かった銘柄はFLCグループ(FLC)で800万株ほどであった。0.99%下落し5010ドンで取引を終えた。外国人投資家が220万株ほど売り越した。

FLCファロス建設は2番目の出来高で717万株が取引された。前日変わらずの31,500ドンで取引を終えた。

ホアセングループ (HSG) とアンファットプラスチック・グリーン環境 (AAA) も多く取引され、出来高はどちらも 500 万株ほどであった。

ホアン・アイン・ザライ (HAG) は決算発表後に 0.38%上昇し、5290 ドンで取引を終えた。

ハノイ取引所の HNX 指数は 0.55%下落し 107.11 ポイントで取引を終えた。出来高は 2844 万株で売買代金は 3689 億ドンであった。出来高で 14%下落したが売買代金で 4%ほど上昇した。

サイゴンハノイ銀行 (SHB) は 1.33%上昇し、7,600 ドンで取引を終えた。PVI ホールディングス (PVI) は 0.25%上昇し 40,000 ドン、ハイフォン港 (PHP) は 6.36%上昇し 11,700 ドンで取引を終えた。

その他の多くの銘柄は値下がりした。中でもビコストーン (VCS) は 4.15%下落し 64,600 ドンで取引を終えることになった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。